

研究課題名「当院における腹腔鏡下胃瘻造設術の術式と成績」に関する情報公開

1. 研究の対象

2014年1月1日から2021年6月30日までに名古屋大学医学部附属病院小児外科で腹腔鏡下胃瘻造設を行った方。ただし、噴門形成術(逆流防止手術)を同時に行った方は除外します。

2. 研究目的・方法・研究期間

小児において胃ろうの造設方法は様々なアプローチ、手技が存在しますが、それぞれにメリットとデメリットが存在し、完全な手術というものはありません。そのため、各施設で様々な方法で行われているのが現状です。

ところで、我々の術式は、腹腔鏡を使用し、可及的に手術創が少なくなるように工夫されていますが、当院で胃瘻造設を施行された方を検討し、その方法の安全性について、これまで報告されてきた代表的な術式と比較検討し、当施設の術式の優位性を評価します。

研究期間：実施承認日～2024年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、手術記録、麻酔記録等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学医学部医学研究科 小児外科学 医局

名古屋市昭和区鶴舞町6-5 (052) 744-2959

研究責任者： 医学部附属病院 小児がん治療センター 病院講師 住田互